

## CONTENTS

01 プロフィール	36 成長を支える基盤
01 カシオの経営理念「創造 貢献」	36 コーポレート・ガバナンス
02 カシオの歩み	40 コンプライアンス
04 ビジネスモデル	41 リスクマネジメント
06 事業概況	42 社外取締役役メッセージ
08 グローバル展開	44 取締役
10 財務・非財務ハイライト	46 執行役員
12 持続的成長の戦略	48 財務セクション
12 社長メッセージ	48 11年間の財務サマリー
20 中期経営計画 4つの成長戦略	50 財務レビュー
20 時計事業	54 連結貸借対照表
24 教育関連事業	56 連結損益計算書
28 新規事業	57 連結包括利益計算書
30 収益改善事業	58 連結株主資本等変動計算書
32 中期経営計画： 中長期の企業価値を向上させる経営基盤の構築	59 連結キャッシュ・フロー計算書
34 中期経営計画：組織と人財の活性化	60 会社情報
	61 株式情報

### 編集方針

持続可能な社会の実現に向けたカシオの中長期戦略およびCSR(企業の社会的責任)の取り組みについて報告するとともに、今後の取り組みのレベルアップに向けてステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図ることを目的に情報を開示しています。

P12～P31において、記載金額は億円未満を四捨五入して表示しています。

### 統合報告書

社会とともに持続的に成長するカシオの中長期戦略をお伝えする報告書として今年度より発行しています。

### CSR・環境ウェブサイト

カシオのCSRの取り組みを網羅的に報告し、検索性に優れたウェブサイトを目指し情報開示しています。

<https://www.casio.co.jp/csr/>

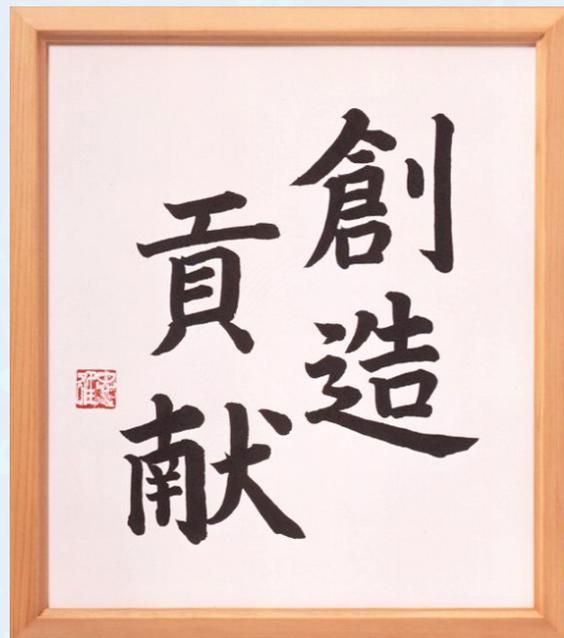
### サステナビリティレポート 2019

「CSR・環境ウェブサイト」の情報をダウンロードできるPDFファイルを用意しています。すべての情報の一括印刷や、必要なパートのみの分割印刷が可能です。

### 見直しに関する注意事項

本統合報告書の業績予想に関する記述および客観的事実以外の記述に関しては、当社が本統合報告書発行時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わるさまざまな要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

## カシオの経営理念 「創造 貢献」



### 「貢献のための創造」

カシオの経営理念は「創造 貢献」です。

これは、カシオ独自の強みを最大限に活かし、時代の変化に合わせて常に新しい市場を創造することで、世の中に役に立ち続ける という意味です。

“貢献のための創造”を通じて、人々の暮らしの中に溶け込むように身近で、必要としてくれる人にとって最も大切な存在となるような、新しい価値を生み出し続ける企業を目指します。

## ▶ カシオの歩み

### カシオの価値創造の歴史

カシオ計算機株式会社は、忠雄、俊雄、和雄、幸雄という四人の樫尾兄弟が、それぞれの得意な力を活かして世界初の小型純電気式計算機の開発に成功し、1957年に設立しました。開発を担当していた次男の俊雄の持論は「発明は必要の母」。世の中が求めるものを開発するのではなく、自分たちが発明した製品で世の中に新しい必要性を生み出すという考えでした。それはデジタル技術を発展させ、電卓、時計、電子楽器などの発明品を世の中に送り出す開発哲学として受け継がれ、今なお新しい価値を生み出し続けています。



#### デジタル腕時計の普及

1974 月替わりに日付修正不要なオートカレンダー搭載  
電子式デジタル時計  
“カシオトロン”



#### オフィスや店舗の事務効率化

1961 世界初の事務作表計算機  
“TUC”



1976 電子式金銭登録機  
“Σ-50ER”



#### 計算業務の飛躍的効率化

1957 静粛かつ高速な計算を可能とした  
世界初の小型純電気式計算機  
“14-A”



#### パーソナル電卓市場の創造

1972 電卓を家庭用に用途を拡大  
世界初のパーソナル電卓  
“カシオミニ”





### 使用段階での環境負荷低減

2010 世界初水銀フリー高輝度  
プロジェクター  
“XJ-A145”

プロジェクター  
事業



### 携帯電話の使用シーンや用途拡大

1999 耐水・耐衝撃性能を備えた携帯電話  
“C303CA”

2010  
携帯電話事業譲渡



### 電子辞書市場の創造

1996 本格辞書コンテンツを搭載した電子辞書  
“XD-500”

2016  
電子辞書  
世界累計出荷  
3000万台達成

電子辞書  
事業



### コンパクトデジカメ市場の創造

1995 フィルムレスで撮ったその場での画像確認を実現した  
デジタルカメラ“QV-10”

2018  
コンシューマ向け  
デジタルカメラ  
事業撤退



### 電子デバイスの供給による産業振興

1990 液晶表示パネルの外販開始

2010  
デバイス事業譲渡

### 電子鍵盤楽器の普及拡大

1980 本格的な音色でいろいろな楽器の演奏を楽しめる電子楽器  
“カシオトーン201”

2019  
電子鍵盤楽器  
世界累計出荷  
9000万台達成

楽器事業



### 従来の腕時計の概念を破壊し用途の飛躍的拡大

1983 落としても壊れにくい革新的性能を実現  
耐衝撃腕時計  
“G-SHOCK”

2017  
G-SHOCK  
世界累計出荷  
1億個達成

時計事業

1985 液晶シャッター式  
ページプリンタ  
“LCS-2400”



1989 ユーザープログラム不要の事務用  
情報処理装置  
“ADPS R1”

システム  
事業



### 授業での活用による効果的な数学学習を実現

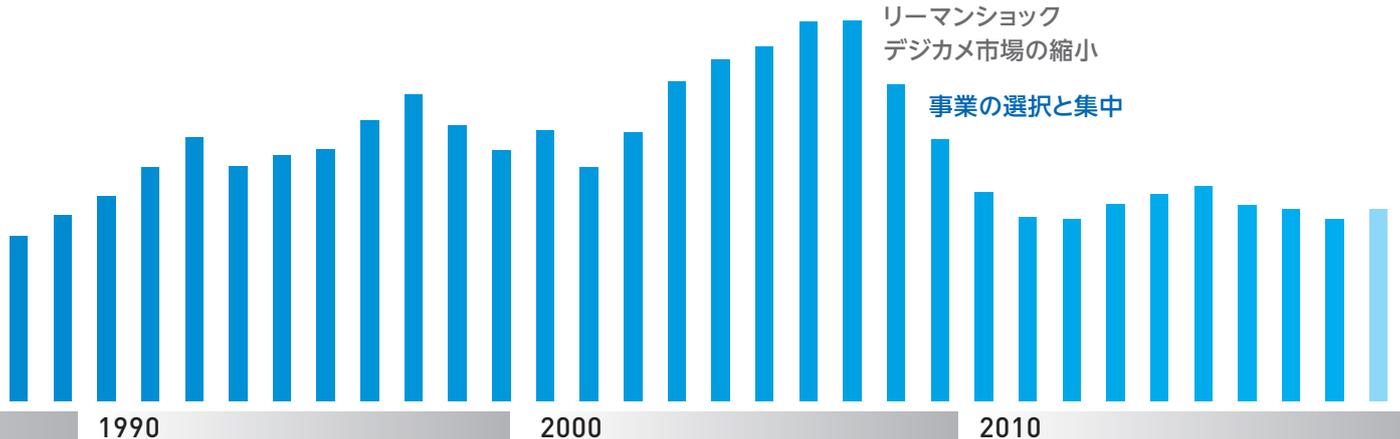
1986 関数式の理解を視覚的に助ける世界初のグラフ関数電卓  
“fx-7000G”

2019  
電卓世界累計出荷  
16億台達成

教育関数  
事業

リーマンショック  
デジカメ市場の縮小

事業の選択と集中



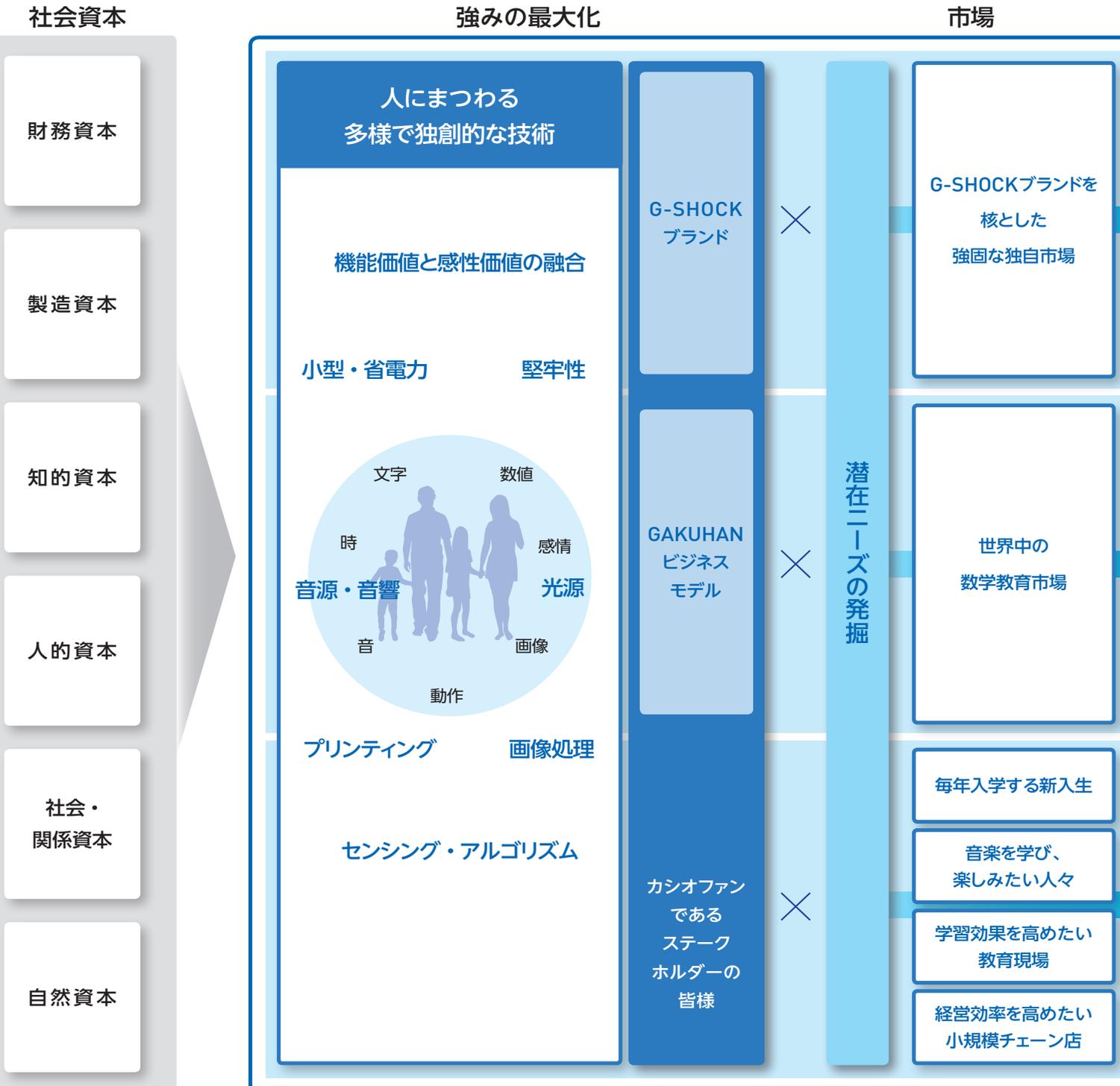
## ▶ ビジネスモデル

### カシオならではの価値創造

カシオならではの価値創造とは、「カシオの強み」を最大化し、それを「世の中にまだ存在しないニーズ」とつなぎ、新しい顧客価値を創造していくことです。

「カシオの強み」の最大化とは、G-SHOCKの堅牢性技術やGAKUHANビジネスモデルのような独自の強い技術や資産を進化させ続けることです。

「世の中にまだ存在しないニーズ」の発掘とは、カシオならではの創造力を発揮してメガトレンドに潜むユーザーニーズを発掘することです。

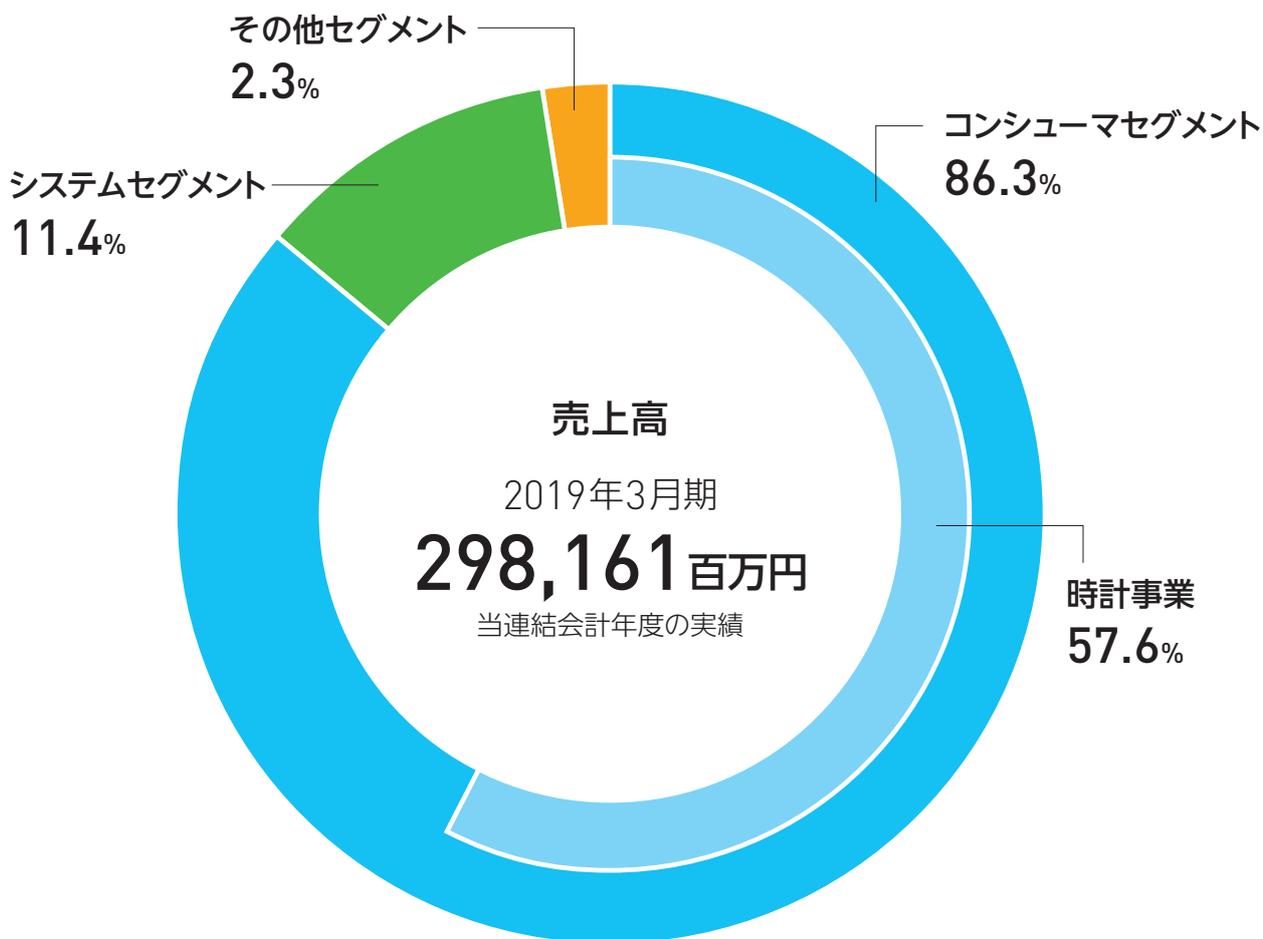


ユーザーの潜在的なニーズをとらえた製品やサービスは、人々に新たな「エクスペリエンス」という「驚き」と「価値」を提供します。それらは、人々の暮らしに溶け込むように身近で、必要としてくれる人にとって、最も大切な存在になります。手に取った後でカシオ製だと知るほどに自然と人々のそばにいる、身近で大切な存在を創る。そうして創り上げた市場をユーザーとともに大切に育て続ける。その過程で「エクスペリエンス」の継続的な進化を図り、新たな「驚き」と「価値」をユーザーに届け続ける。それがカシオの価値創造です。

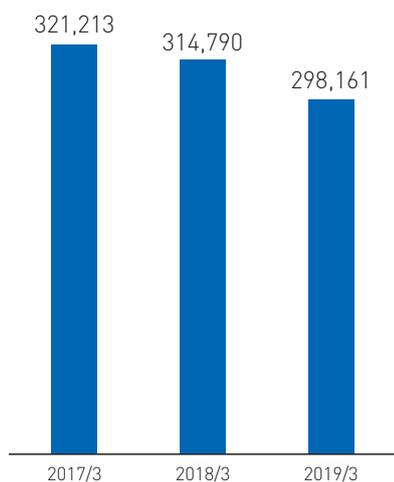


▶ 事業概況

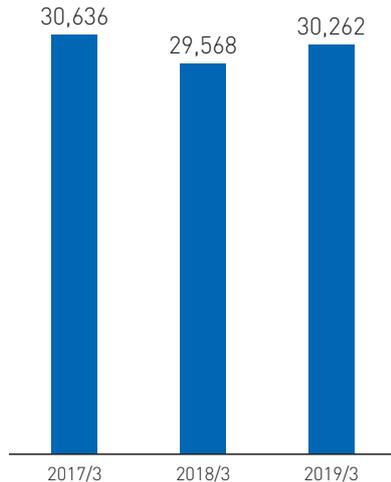
2018年3月期におけるコンパクトカメラ事業の撤退および中国や欧州での景気減速、新興国通貨安等の外部環境変化の影響により、売上高は減少しましたが、構造改革による収益体質の改善を図りました。その結果、当期の売上高は、298,161百万円、営業利益は30,262百万円となり、通期業績は減収増益となりました。また、経常利益は29,894百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は22,135百万円、1株当たり当期純利益(EPS)は89円86銭と改善しました。



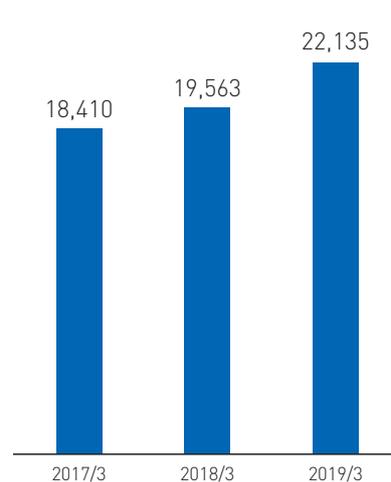
売上高  
(百万円)



営業利益  
(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益  
(百万円)



## コンシューマ

### 主要製品

ウォッチ、クロック、電子辞書、電卓、電子文具、電子楽器 等

### 2019年3月期の業績

当セグメントの売上高は、コンパクトカメラ事業の撤退により257,354百万円(前期比4.3%減)となりましたが、構造改革の効果により営業利益は38,232百万円(前期比9.1%増)となりました。

#### ● 時計事業

「G-SHOCK」が初号機5000シリーズ初のフルメタル仕様モデル『GMW B5000』などのメタルを中心に好調に推移(G-SHOCKの年間販売数:950万個)しました。景気減速等外部環境の変化が厳しい中でも、引き続き高収益性を維持しました。

#### ● 教育事業

電卓は関数電卓が安定した学生市場により引き続き好調に推移(関数電卓の年間販売数:2,360万台)し、同様に学生向けが堅調である電子辞書とともに収益性を確保しました。さらに電子試験/電子教科書市場に対応したWebアプリケーション事業を開始、教育事業の新たな柱としてのスタートを切りました。また、楽器については2月に発売したデジタルピアノ「Privia(プリヴィア)」『PX-S1000』が市場から高い評価を得ています。

### 売上高

(百万円)



### セグメント利益

(百万円)



## システム

### 主要製品

ハンディターミナル、電子レジスター、経営支援システム、データプロジェクター 等

### 2019年3月期の業績

2016年度、採算性の低かったプリンター事業等から撤退したことにより、2018年3月期は収益力を大幅に改善し営業利益の黒字化を図りました。しかしながら、2019年3月期はフランスでの法令レジスター特需先送りの影響もあり、当セグメントの売上高は、33,821百万円(前期比11.7%減)、営業利益は910百万円の赤字(前期営業利益583百万円)となりました。

### 売上高

(百万円)



### セグメント利益

(百万円)



## その他

### 主要製品

成形部品、金型 等

### 2019年3月期の業績

当セグメントは、成型部品、金型などグループ会社の独自事業等であり、その売上高は、6,986百万円(前期比7.9%減)、営業利益は336百万円(前期比41.1%減)となりました。

### 売上高

(百万円)



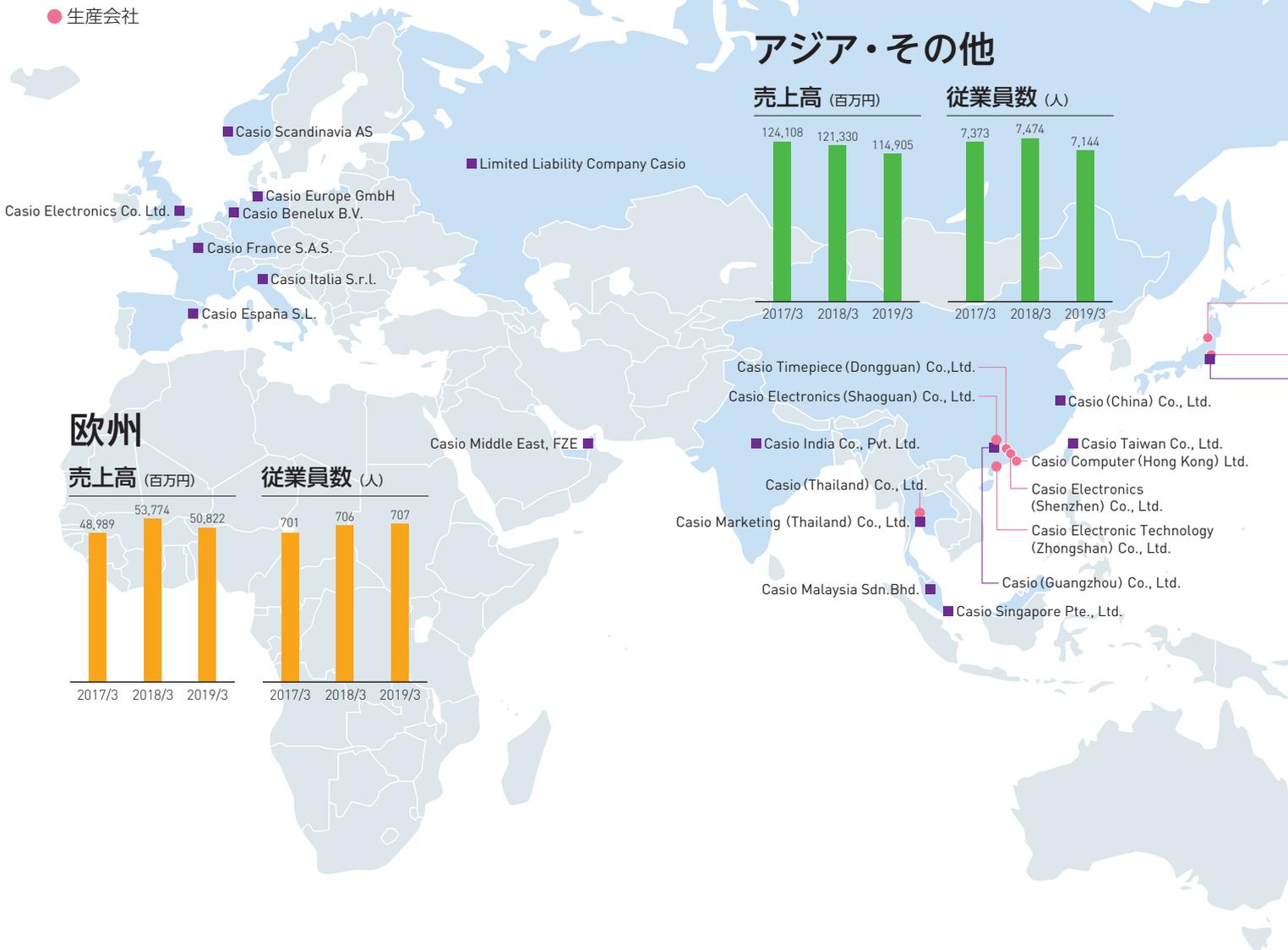
### セグメント利益

(百万円)

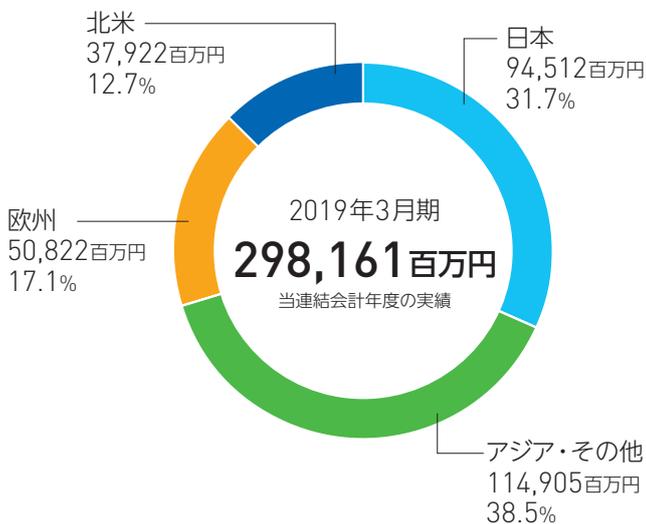


▶ グローバル展開

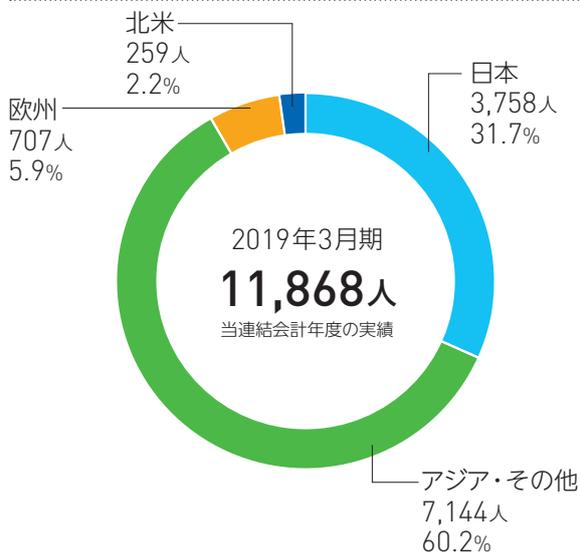
- 本社・販売会社・その他
- 生産会社



売上高構成比



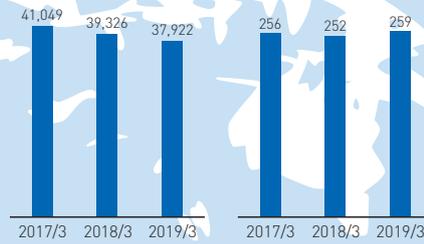
従業員数構成比



## 北米

売上高 (百万円)

従業員数 (人)



Casio Canada Ltd. ■

■ Casio America, Inc.

■ Casio Mexico Marketing, S. de R. L. de C.V.

山形カシオ株式会社

カシオ電子工業株式会社

カシオ計算機株式会社

カシオテクノ株式会社

カシオヒューマンシステムズ株式会社

カシオ情報機器株式会社

株式会社CXD ネット

カシオマーケティングアドバンス株式会社

カシオビジネスサービス株式会社

株式会社カシオコミュニケーションブレインズ

リプレックス株式会社

## 日本

売上高 (百万円)

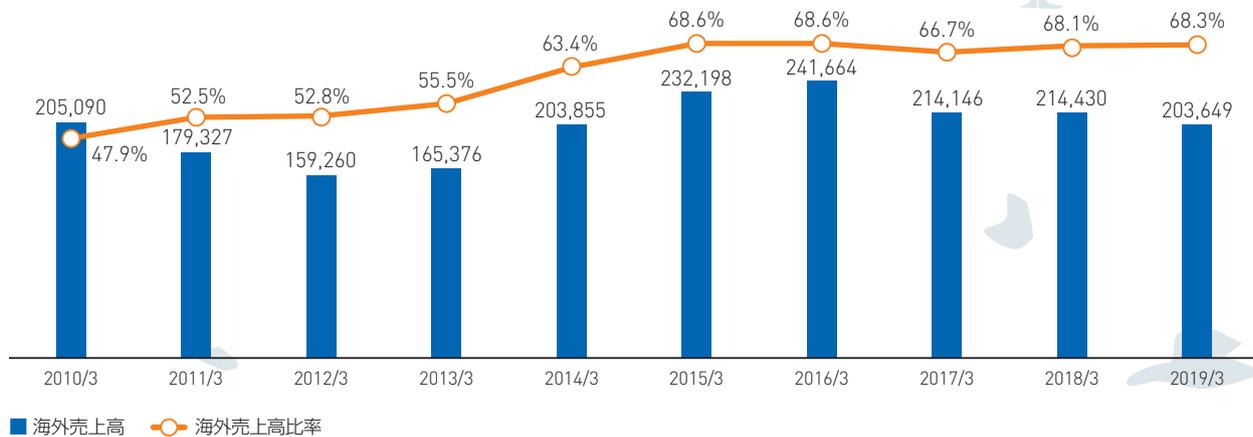
従業員数 (人)



Casio Brasil Comercio De Produtos Eletronicos Ltda. ■

■ Casio Latin America S.A.

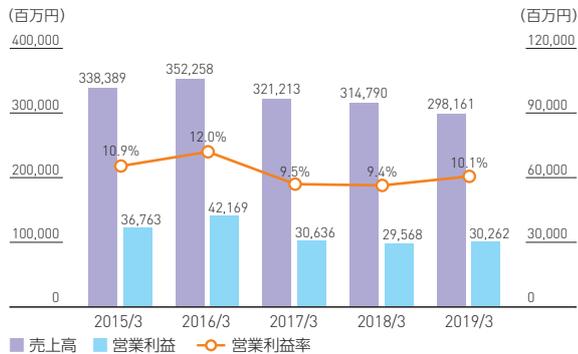
### 海外売上高と比率の推移 (百万円)



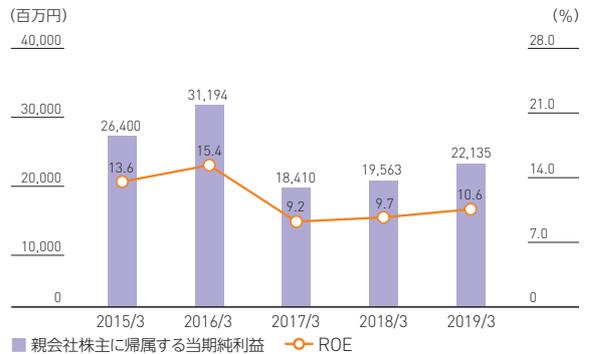
■ 海外売上高 ○ 海外売上高比率

## 財務ハイライト

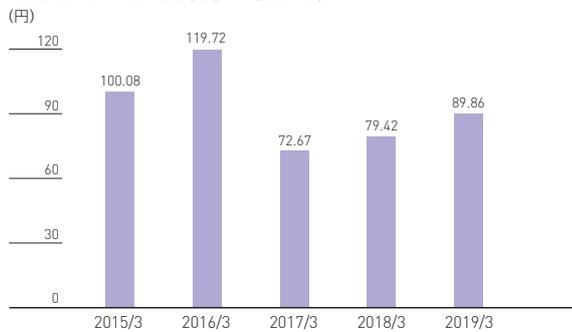
### 売上高／営業利益／営業利益率



### 親会社株主に帰属する当期純利益／ROE



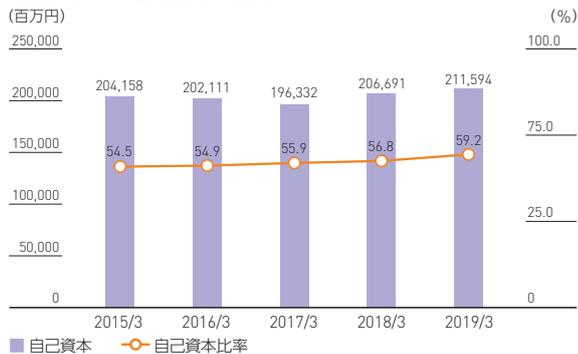
### 1株当たり当期純利益 (EPS)



### 現金及び現金同等物／有利子負債



### 自己資本／自己資本比率



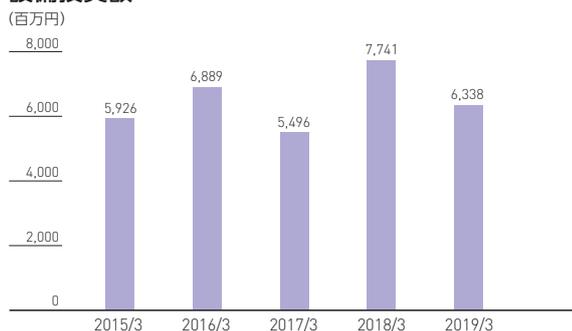
### 1株当たり配当額／自己株式取得／総還元性向



\*2019年3月期の期首から「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を適用しており、2018年3月期の数値は当該会計基準等を通じて適用しています。

\*2018年3月期の1株当たり配当額50円は、創立60周年記念配当10円を含んでいます。

### 設備投資額

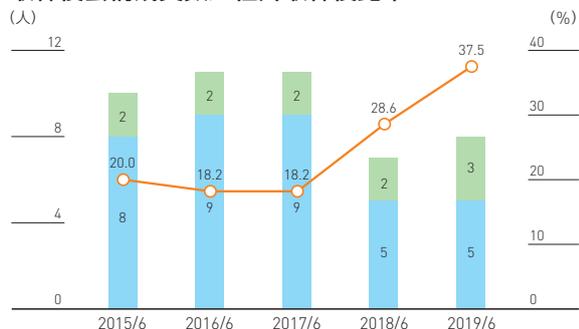


### フリー・キャッシュ・フロー



## 非財務ハイライト

### 取締役会構成員数／社外取締役比率



■ 社内取締役 ■ 社外取締役 ○ 社外取締役比率

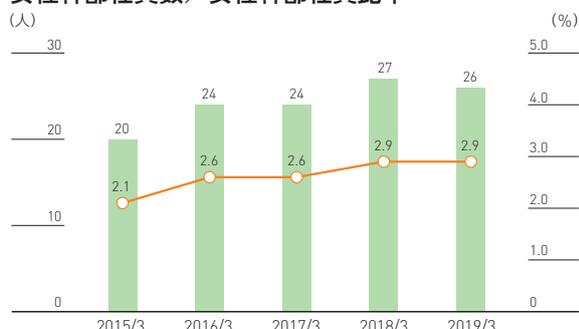
※2019年6月27日の定時株主総会の決議により監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行しました。

### 従業員数／女性従業員比率※1



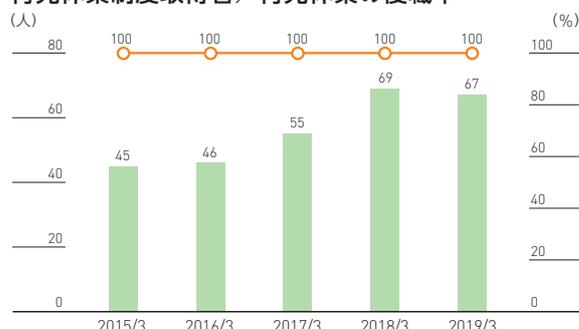
■ カシオ計算機従業員数 ○ 女性従業員比率

### 女性幹部社員数／女性幹部社員比率※1



■ 女性幹部社員数 ○ 女性幹部社員比率

### 育児休業制度取得者／育児休業の復職率※1



■ 育児休業制度取得者 ○ 育児休業の復職率

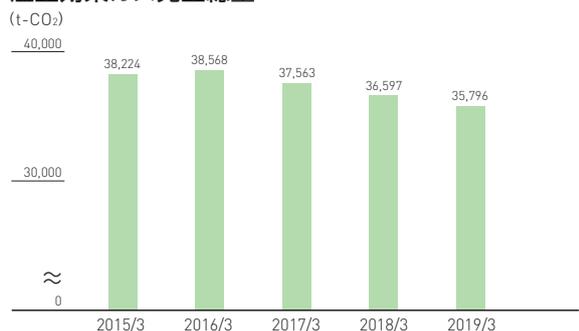
### 時間外労働時間(1カ月当たり平均)※2



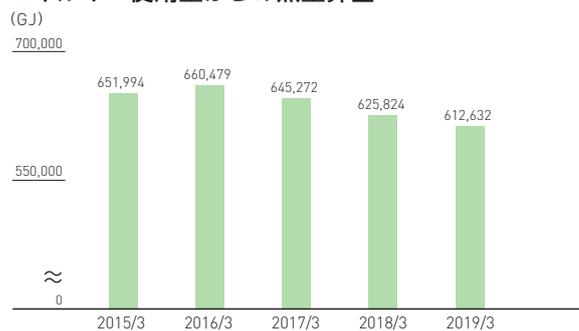
### グリーンスター製品売上比率



### 温室効果ガス発生総量



### エネルギー使用量からの熱量算出



※1 対象:カシオ計算機

※2 対象:カシオ計算機・国内グループ会社